



保健所からのお知らせ

千葉県内で手足口病が流行中です。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいです。
日頃から「石けん」と「流水」による手洗いを徹底しましょう！
消毒薬は次亜塩素酸ナトリウムを使用しましょう！



全数把握対象疾患

松戸保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています。
全数報告集計表については、別添をご覧ください。

	2026年第27週～第28週		累計 (2026年第1週～2026年第28週)
2類感染症	結核	6	54
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	6
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	3
	梅毒	4	25



定点把握対象疾患

上段：報告数
下段：定点当たり報告数（定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値）

前週比： ↓減少 →横ばい ↑増加

小
児
科
定
点

疾病名	前週比	第28週	第27週
RSウイルス感染症	→	2	2
		0.18	0.18
咽頭結膜熱	↓	3	5
		0.27	0.45
A群溶血性レンサ球菌感染症	↑	25	20
		2.27	1.82
感染性胃腸炎	↑	74	57
		6.73	5.18
水痘	↓	2	4
		0.18	0.36
手足口病	↑	240	202
		21.82	18.36
伝染性紅斑	↓	-	1
		-	0.09
突発性発疹	↑	4	2
		0.36	0.18
ヘルパンギーナ	↑	46	38
		4.18	3.45

急
感
性
染
呼
症
吸
器

疾病名	前週比	第28週	第27週
インフルエンザ	↑	5	-
		0.25	-
新型コロナウイルス感染症	↑	32	23
		1.6	1.15
急性呼吸器感染症（ARI）	↑	1795	1695
		89.75	84.75
急性出血性結膜炎	→	-	-
		-	-
流行性角結膜炎	→	-	-
		-	-

眼
科

※急性呼吸器感染症（ARI）
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、
発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例



【松戸保健所管内居住結核新登録患者数】



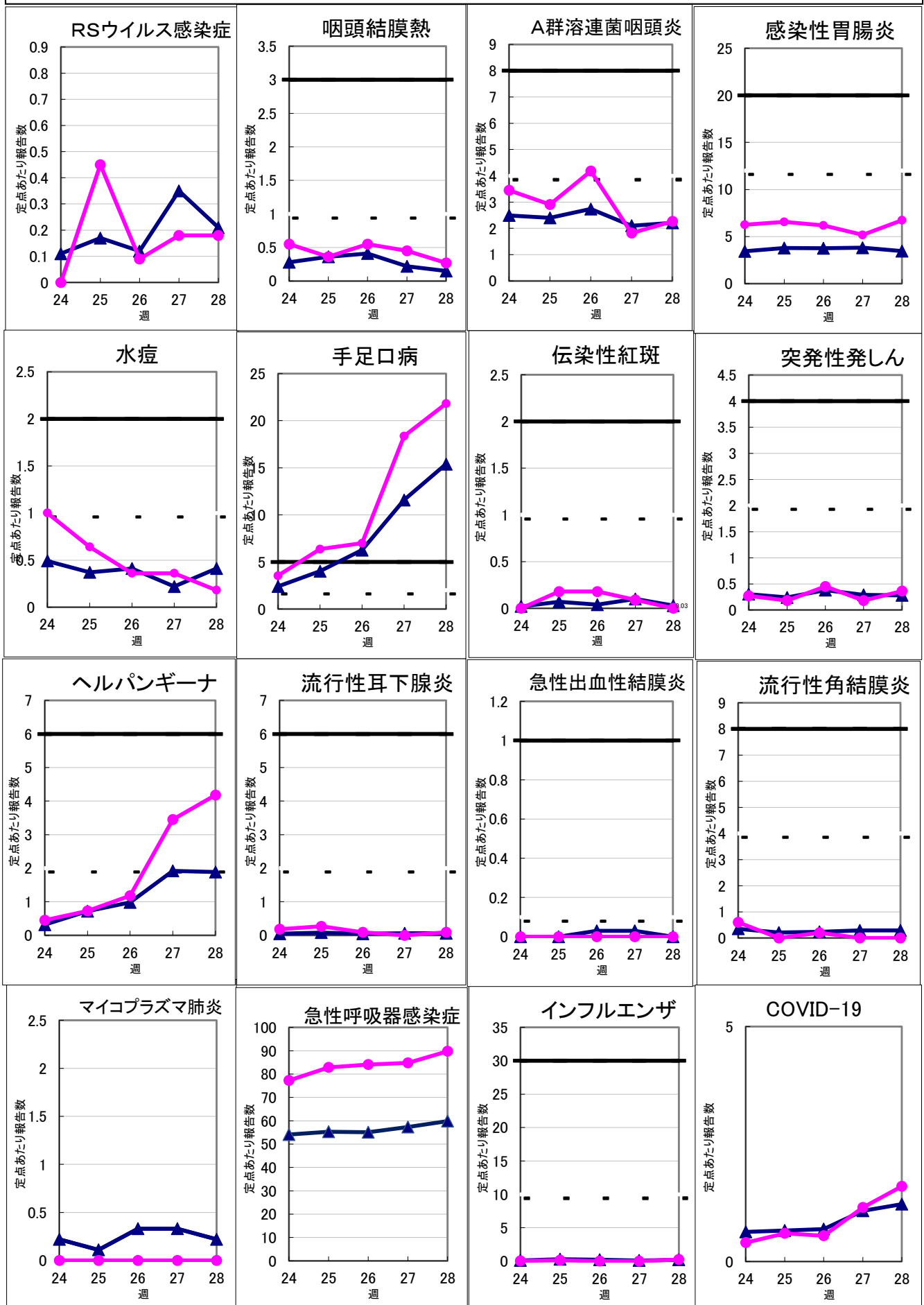
【集団感染発生状況】

活動性結核（①～④）		疾患名	報告数
①喀痰塗抹陽性	1	手足口病	13件 (保育施設)
②その他の結核菌陽性	1		
③菌陰性その他	0		
④活動性肺外結核	2		
無症状病原体保有者 (潜在性結核感染症)			3

数値は報告の追加、取り下げ等により、今後変動することがあります。

松戸保健所管内の感染症発生動向（直近5週）

● 松戸保健所管内 ▲ 千葉県全体 — 警報基準値 - - - 終息基準値



手足口病について

発生動向

2026年第27週に千葉県内の小児科定点医療機関から報告された手足口病の定点当たり患者報告数が、11.59人となりました(図1)。国が定める警報基準値「5」を上回り、千葉県内で大きな流行が発生しているため引き続き発生動向に注意が必要です。

感染症について

口の中、手のひら、足底や足の甲などに2mmから3mmの水疱を伴う複数の発疹が出る伝染性のウイルス性感染症です。

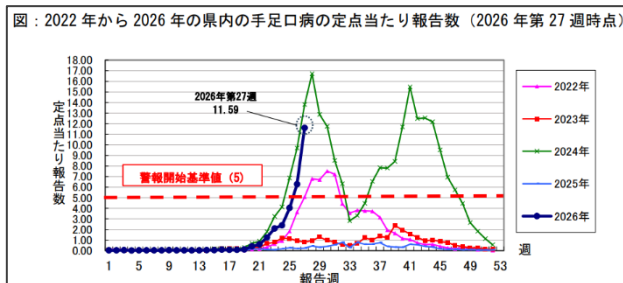


図1

出典：千葉県結核・感染症週報 2026年 第27週 (2026年6月分感染症月報含む)
wr2627.pdf

感染経路

- ・飛沫 感染
- ・接触 感染
- ・糞口 感染※

原因となるウイルスに感染する

▲ 感染しても症状が出ないまま、ウイルスを排出する場合もある

軽い発熱、食欲不振、のどの痛み等

口の中、手のひら、足底や足の甲等に2～3mmの水疱が多発する

自然経過で治癒する

潜伏期間：3～5日

発熱から約2日経過

多くの場合、3～7日

▲ 回復後もウイルスを排出する

飛沫や鼻汁から

1～2週間ほど排出

便から

数週 から 数か月間 排出

特に、手足口病にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活している保育施設等では、以下のチェックリストを参考に、感染拡大防止に努めましょう！

- ✓ 消毒薬は 次亜塩素酸ナトリウム を使用 原因となるウイルスはアルコールが効きにくい
- ✓ 日頃から流水と石けんでこまめに手を洗う
- ✓ タオルや寝具の共用を避ける
- ✓ おむつ交換時には使い捨てビニール手袋を着用し、1 ケアごとに交換 (交換後は流水と石けんで手を洗う)



A型肝炎について

発生動向

2026年第27週に千葉県内医療機関から2例のA型肝炎発生届出があり、本年の累計は8例となりました(図2)。すでに過去5年間で最多となっており、引き続き発生動向に注意が必要です。

感染症について

A型肝炎ウイルス(HAV)の感染による急性感染症です。

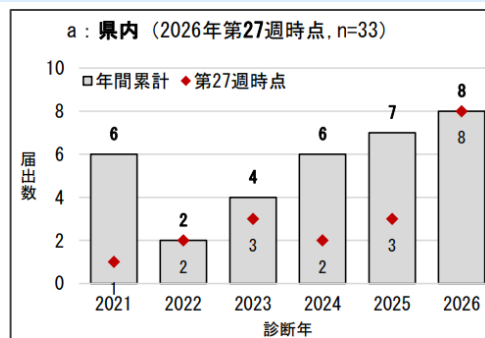


図2

出典：千葉県結核・感染症週報 2026年 第27週 (2026年6月分感染症月報含む)
wr2627.pdf

感染経路

- ・ヒトからヒトへの直接的な接触 (糞口感染)
- ・汚染された食品や水を摂取
- ▲ 冷凍してもA型肝炎ウイルスは不活化しない
- ・性交渉によって感染することもある

A型肝炎ウイルス(HAV)に感染する

※A型肝炎ウイルスに感染しても症状が出ない場合もある

急な発熱、全身のだるさ、食欲不振、吐き気や嘔吐

黄疸が出現する (皮膚や目の白い部分が黄色くなること)

・多くは自然軽快する
・稀に劇症肝炎に進展する例も報告されている

潜伏期間：2～7週間

数日後

感染を防ぐためには

- ✓ 手洗いをはじめとする衛生管理の徹底
- ✓ 中心部までの十分な加熱 (85℃以上、1分以上でA型肝炎ウイルス不活化)
- ✓ A型肝炎患者の排泄物の適切な処理 (使い捨てビニール手袋を着用し、1 ケアごとに交換等)

衛生状態が悪く、飲用水の管理が悪い地域※での対策

- ✓ 生水ではなく、ミネラルウォーターや一度沸騰させた水を飲む
- ✓ カットフルーツでは洗った水が汚染されている可能性があるため、自分の手で皮をむいて果物は食べる方が安全

※危険のある地域は下記の「厚生労働省 検疫所 FORTH」のHPを参照
A型肝炎(Hepatitis A)

参考文献

(1) 手足口病 (厚生労働省ホームページ) 手足口病 | 厚生労働省 | 厚生労働省

(2) 保育所における感染症対策ガイドライン (2018年改訂版) [全体的] 保育所における感染症対策ガイドライン

(3) 手足口病 (感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について) 手足口病 | 厚生労働省

(4) 千葉県結核・感染症週報 2026年 第27週 (2026年6月分感染症月報含む) wr2627.pdf